

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	生産履歴簿記帳推進事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	農業振興課			
施策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	安蒜 康志			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内産農作物	意図	適正な農薬使用のもとでの生産が維持される。
事業内容	農作物生産者に対し、「生産履歴簿」を配布し、農薬の散布日や使用回数について記帳を徹底するよう喚起し、農薬の適正使用について推進する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成18年5月にポジティブリスト制度が導入され、これまで残留基準値のなかった作物についても規制が加わるようになり、農薬が残留した農作物の流通を原則禁止し、残留が許される場合について、作物ごとに基準値を示されるようになった。これにより、農薬使用にあたっては、使用基準を順守し適正使用に努め、周辺環境への配慮や使用履歴の記録が一層重視されるようになった。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	残留農薬超過による流通規制に至った事例	0	0	0	件	↓↓↓
②	生産履歴簿記帳推進訪問指導件数	20	0	0	件	→→	
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果		<p>目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）</p> <p>◆農業関係機関連絡協議会の活動として、全農家へ「生産履歴簿」を配布した。</p> <p>◆実際にどれだけの生産者が記録簿への記帳が習慣づいているのか把握していない。</p> <p>◆[参考]平成26年度に農薬使用についての新たな評価方法（短期暴露評価）が導入され、農薬残留基準値が見直された。このため、平成26年度は、生産履歴簿を作成できなかった。</p>					
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		345,500	3,765,000	3,432,500			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)		0.05	0.50	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	生産履歴簿への記帳の定着	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・需要が高まっている作物に係る生産履歴簿の対応 ・農薬に関する法律改正への対応
②今年度(H28)に実施した取組	全農家へ生産履歴簿を配布した。	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな作物に係る履歴簿の追加作成 ・法改正に対応した履歴簿の内容精査